

茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

趣旨

【計画期間】 第一ステージ: 令和2年12月7日～令和5年3月31日 第二ステージ: 令和5年4月1日～令和7年3月31日

○バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期(概ね平成5年から平成16年)に学校卒業期を迎えた、いわゆる「就職氷河期世代」においては、卒業時、不安定な就労や無業に移行したことなどが端緒となり、今なお、不安定就労等を余儀なくされている者も少なくない状況にある。

○このため、茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォームでは、事業実施計画を策定し、就職氷河期世代の方々の活躍の機会が広がるよう、県内の気運を醸成し、各界が一体となって効果的かつ継続的な取組を推進していくこととする。

①不安定な就労状態にある方

目標

就職氷河期世代で不安定な就労状態にある方等への支援を強化し、正規雇用労働者の増加を目標とする。併せて、職場定着に向けた支援を実施し、安定就労の実現を目指す。 正規雇用者数 7,500人以上(5年間)

KPI

- ①正社員就職件数 第一ステージ 6,000件
第二ステージ 5,883件
- ②キャリアアップ助成金活用による正社員転換件数 第一ステージ 1,500件
第二ステージ 745件

主な取組等

- ハローワーク水戸、土浦「ミドル世代支援コーナー」を始めとした県内各ハローワークにおける重点的な支援
- いばらき就職支援センターにおいて、専任のキャリアカウンセラーを配置し、正社員就職を支援
- 県内企業等とのマッチングイベントの開催
- 安定就労に有効な職業能力開発を目指す公的職業訓練を実施
- 企業内で正社員転換等の取組を促進するための助成金等の活用促進

②長期にわたり無業の状態にある方

目標

サポステを中心に、利用者やその家族の希望に応じ、就労その他の職業的自立に繋げることを目指す。

KPI

- 氷河期世代を含めたサポステの支援による就職件数 第一ステージ 282件
第二ステージ 187件

主な取組等

- サポステ事業の支援対象年齢を49歳までに拡大
- サポステ事業とハローワークの連携を強化し、両者が持つ専門的知見や支援メニューの活用により、職業的自立の実現に向けた支援を実施
- 職場体験の受け入れ先の開拓
- 就職後の定着サポート、仕事のステップアップ相談の実施

③社会参加に向けた支援を必要とする方

目標

個々人の状況やニーズを把握し、家族を含めた継続的な支援を実施していく体制を各地域で整備し、すべての方が社会とつながりながら生活することを目指す。

KPI

- ①県内全市町村でひきこもり相談窓口を設置 全44市町村
- ②県内全市町村で市町村PFを設置 全44市町村

主な取組等

- 茨城県ひきこもり相談支援センターや自立相談支援機関等での引きこもり家庭の実態やニーズの把握
- ひきこもり状態にある方やその家族が、より身近な市町村において容易に相談できる環境を整備する
- 地域における情報共有や、対応方針の検討の場として、既存の会議体等も活用し、市町村PFの設置を推進

横断的な取組

目標

PF構成機関それぞれの強みを活かし、①から③までの各種取組を着実に実施するとともに、支援が必要な方々に知ってもらい、活用してもらうことを目指す

主な取組等

- 支援対象者やその家族等に対し、各構成員が有する様々なルートを通じて各種支援策の周知を行う(全構成機関)
- 取組の成果把握のためのデータや支援事例等の収集・整理に努め、本PFで共有する(労働局・県)